



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 26日

いわき市長 殿

提出者

住 所 いわき市好間工業団地22-5

氏 名 (株)キョウデン 東北工場
工場長 武田 忠男

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0246-36-4333

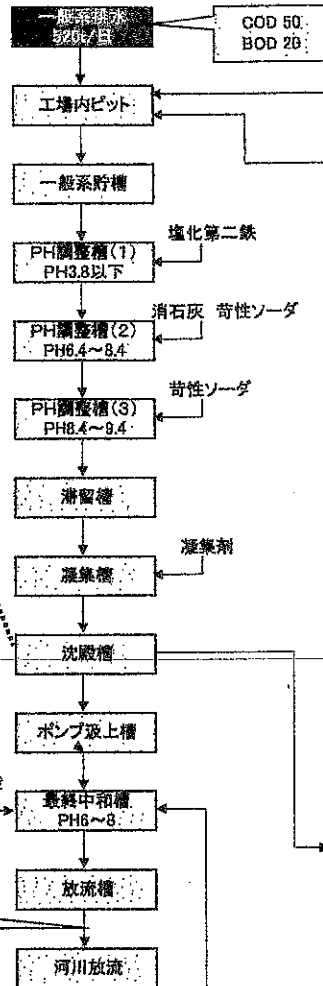
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)キョウデン 東北工場		
事業場の所在地	いわき市好間工業団地22-5		
計画期間	令和6年 4月 ～ 令和7年 3月		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	電気機械器具製造業		
② 事業の規模	製造品出荷額	778,400万円	(令和5年度)
③ 従業員数	170人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照		

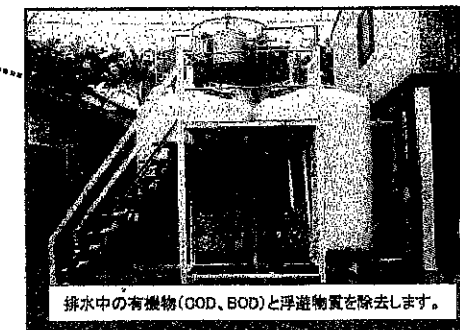
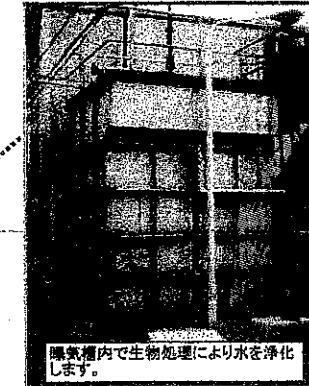
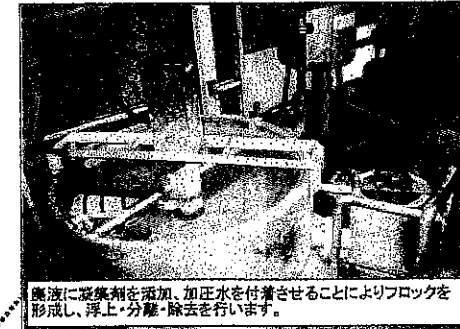
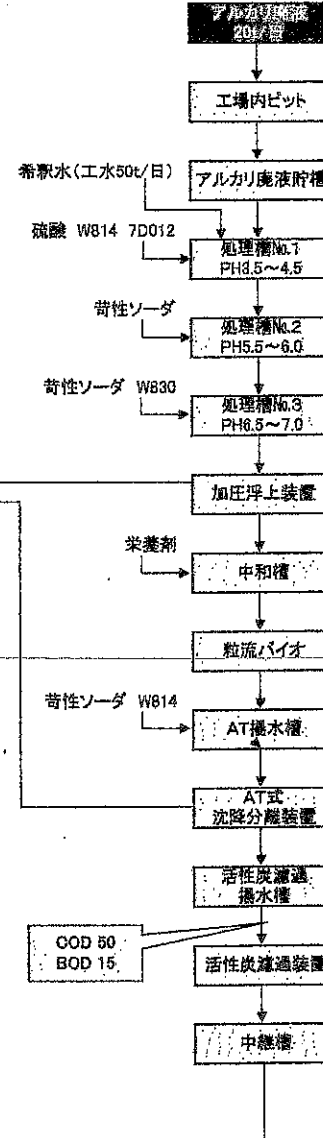
（日本工業規格 A列4番）

排水処理フロー図

一般系排水処理設備…凝集沈殿処理



アルカリ(珪酸、剥離産液)系処理設備…加圧浮上処理



※アルカリ処理設備
H10/6月〜稼動 日本表面科学(ジャスコ)
・W814…無機系凝集剤
・W830…カチオン系高分子凝集剤
・7D012…凝集助剤

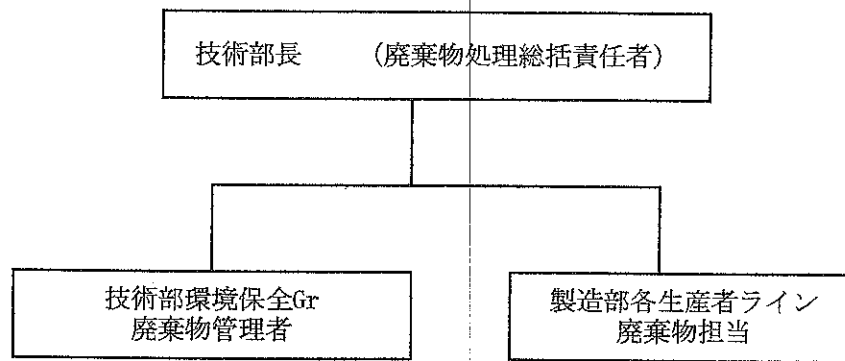
【いわき市との公害防止協定に基づく排水基準】

項目	通常値	測定回数
pH	6.0~9.0	1回/日
COD	50mg/L以下	1回/日
BOD	15mg/L以下	1回/日
SS	10mg/L以下	1回/日
硫酸根	1,000mg/L以下	1回/日
硝酸根	100mg/L以下	1回/日
アンモニウム	10mg/L以下	1回/日
亜硝酸根	10mg/L以下	1回/日
亜硫酸根	10mg/L以下	1回/日
硫酸根	1,000mg/L以下	1回/日
硝酸根	100mg/L以下	1回/日
アンモニウム	10mg/L以下	1回/日
亜硝酸根	10mg/L以下	1回/日
亜硫酸根	10mg/L以下	1回/日

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃油	廃アルカリ	廃酸	木くず
	排出量	1300t	147t	35t	4500t	6t	0.5t
	(これまでに実施した取組) 有価物化						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃油	廃アルカリ	廃酸	木くず
	排出量	1600t	160t	40t	6000t	10t	
	(今後実施する予定の取組)						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 種別ごとに分別保管 ・ 再資源化のための分別保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1099 t	4496 t
	(これまでに実施した取組) ・汚泥脱水設備の更新 ・最適化による効率的処理の検討		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1300 t	5992 t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥脱水設備の安定運転 ・最適化による効率的処理の検討		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃油	廃アルカリ	廃酸	木くず
	全処理委託量	201t	147t	35t	4t	6t	0.5t
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	66t	62t				0.5t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組)						

(第5面)

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃油	廃アルカリ	廃酸	木くず
	全処理委託量	300t	160t	40t	8t	8t	
	優良認定処理業者への 処理委託量						
	再生利用業者への 処理委託量	90t	60t				
	認定熱回収業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量						
	(今後実施する予定の取組)						
※事務処理欄							

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。